

令和元年度全国高等学校教育改革研究協議会

－地域との連携・協働による新しい高等学校づくり－

奈良県教育委員会事務局
学校教育課

発表概要

- 奈良県の取組について

- 指定校の取組について

地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）

- コンソーシアムについて

- 取組の普及について

- まとめ（今後の課題）

奈良県の取組について

「奈良県教育振興大綱」（平成28年策定）

＜基本理念＞

「育人 ～県民一人一人が学び、育ち合い、潜在力を最大限引き出す～」

＜目指す人間像＞

- I 自他を学び、地域を尊ぶ人 ～「自尊」「他尊」「地尊」の人づくり～
- II 確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を備えた人
～「知」「徳」「体」の調和がとれた人づくり～
- III 自立し、主体性をもって行動し、協働して地域・社会に参画する人
- IV 創造性を発揮し、世界に伍して活躍する人

奈良県の取組について

「奈良県教育振興大綱」（平成28年策定）

＜施策の方向性（教育課題）＞

- 地域への誇りと愛着を抱き、**地域と協働し、地域・社会に貢献する人材の育成**
- 世界に伍して活躍するグローバル人材の育成**



グローバル人材の育成

奈良県の取組について

- ・ **グローバル人材育成事業**

- 【事業の目的】

急速にグローバル化が進み、人口減少や少子高齢化とともに地域の活性化が叫ばれる中、奈良県の魅力を深く学び、**グローバルな視野をもって地域の未来を担うことができる次世代リーダーの育成**が必要である。

そのため、旧 S G H 校を拠点校として、**コンソーシアムを組織**し、その指導と協力の下、地域の課題を自ら発見し解決する学習を効果的に行う**カリキュラムを研究・開発**する。

奈良県の取組について

【事業の内容】

- グローバルな社会課題研究のカリキュラム研究開発
- 海外研修等をカリキュラムの中に体系的に位置づける
- コミュニケーション能力を重視した先進的な授業実践
- 運営指導委員会による指導・助言
- コンソーシアムの運営



地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）

奈良発！未来を創造するグローバル・リーダー育成プログラム
指定校：奈良県立畝傍高等学校

指定校の取組について

- 1 学校の概要
- 2 地域・学校の状況と課題
- 3 本事業の概要



1 学校の概要

- 創立120年を超える伝統校

• 地域リーダーを数多く輩出

- 県中南部の拠点都市・橿原市に所在
- 進学と部活の両立
- 平成26年度からSGH校に指定

2 地域・学校の状況と課題

地域

- ・人口減少・少子高齢化
- ・南部東部の振興
- ・急増するインバウンド
需要と対応人材不足

学校

- ・保守的→受動的姿勢
(学習意欲、学校生活)
- ・指導改善の遅れ

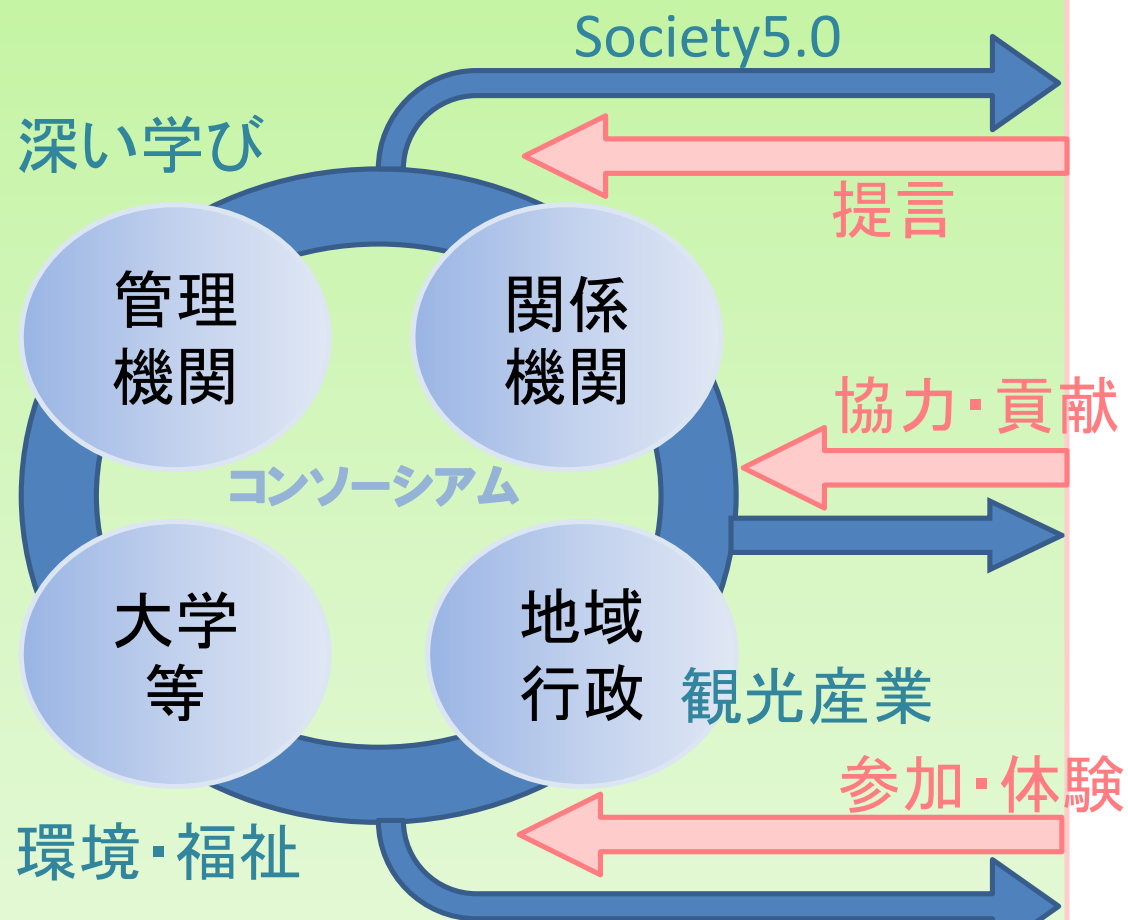
S G H 事業

地域との協働による高等学校教育改革推進事業
(グローバル型)

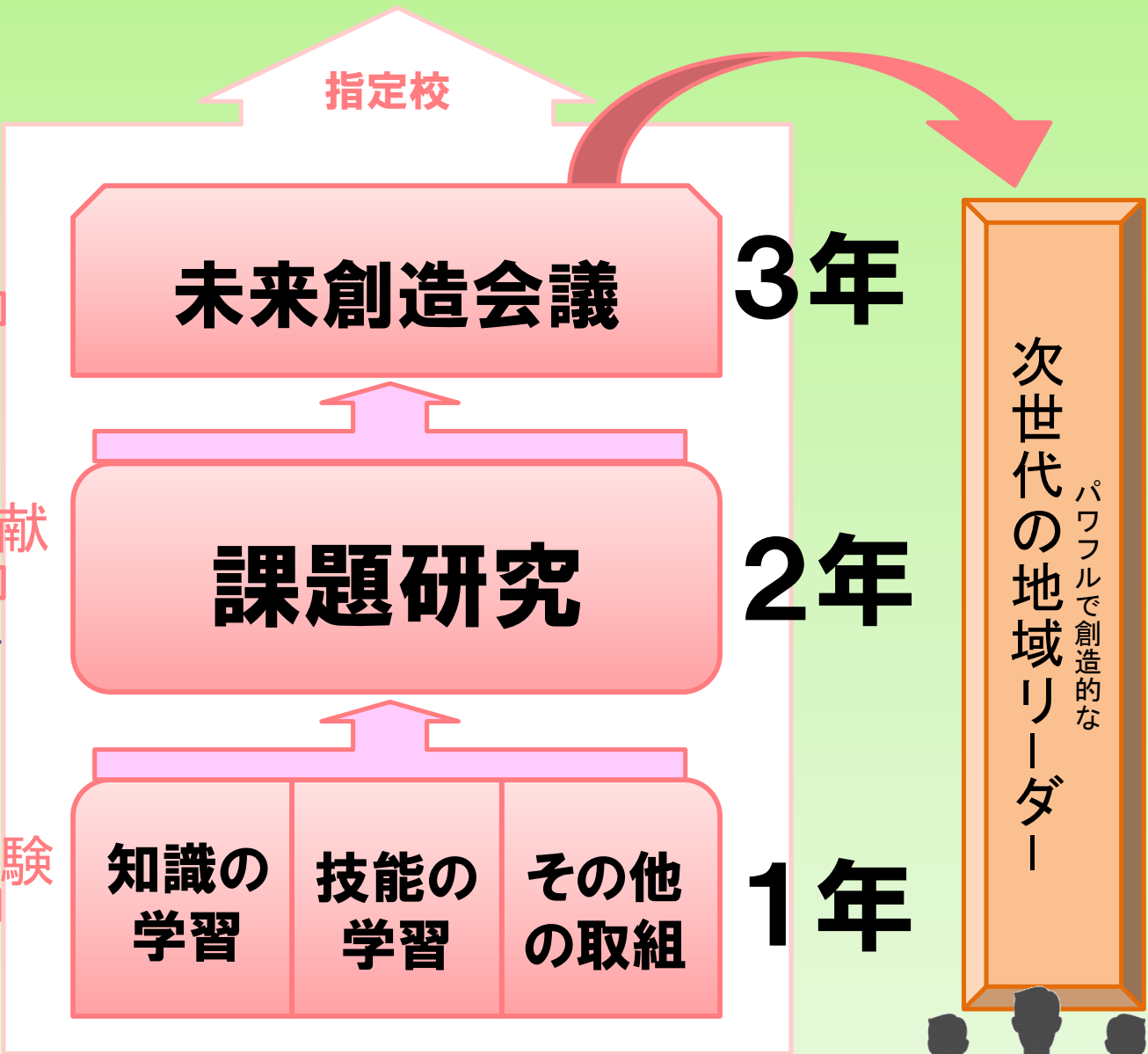
S G H事業（平成26～30年度）の総括

	達成した	十分でない
生徒の意識	<ul style="list-style-type: none">・ 自主的に社会貢献する意欲・ 主体的に活動する態度	<ul style="list-style-type: none">・ 課題研究とキャリアの連続性
生徒の技能	<ul style="list-style-type: none">・ 協議し協働する力・ 表現する力	<ul style="list-style-type: none">・ 批判的思考力
指導体制	<ul style="list-style-type: none">・ 校外活動の指導に関わる連携等	<ul style="list-style-type: none">・ 学校内の教科間連携・ 各教科の指導改善

3 本事業の概要

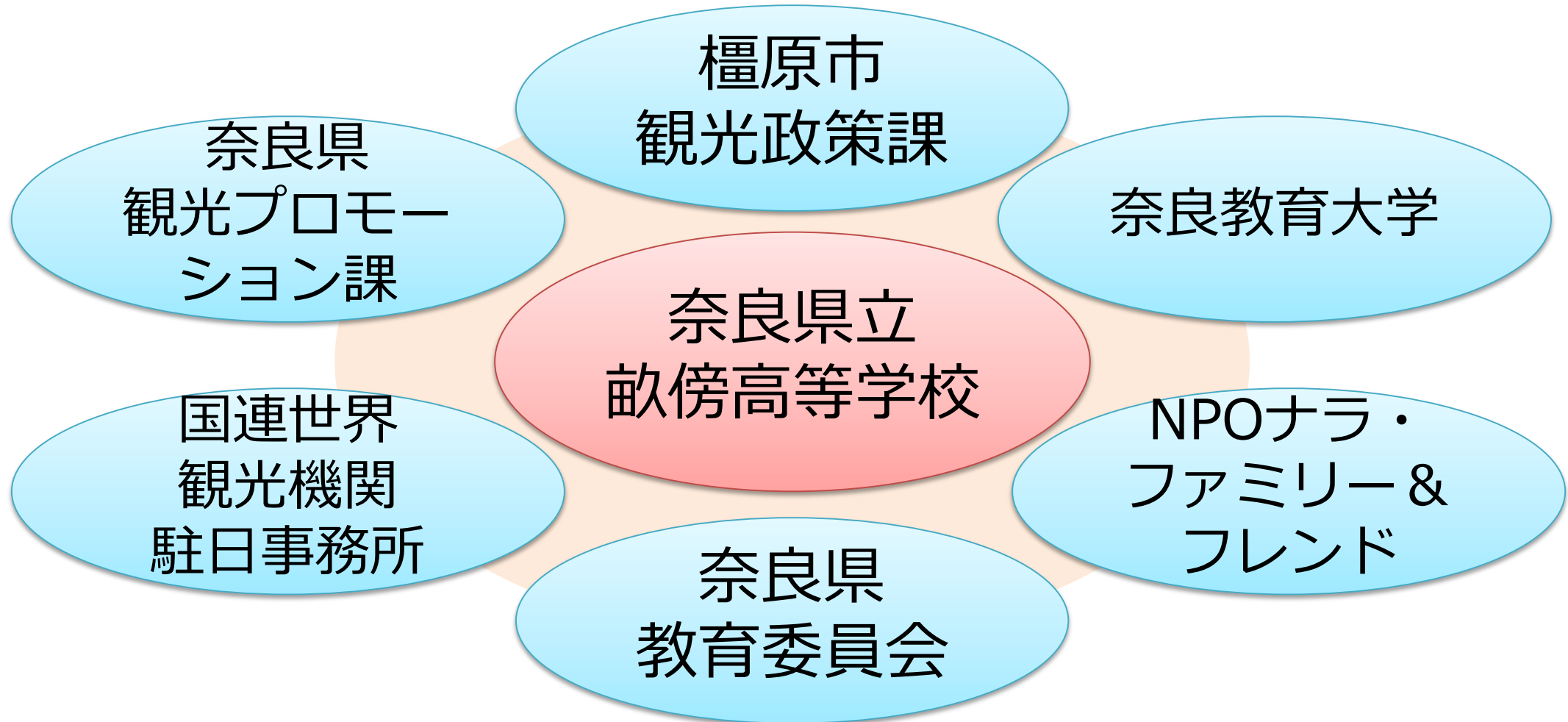


教育企画部が連携を担当



コンソーシアムについて

- ・ グローバルな視野を持った次代のリーダー育成コンソーシアム



コンソーシアムについて

<運営協議会>

グローバルな視野を持った次代のリーダー育成コンソーシアム							
奈良県	橿原市	奈良教育大	国連世界観光機関駐日事務所 (UNWTO)	NPOナラ・ファミリー&フレンド (NF&F)	奈良県教育委員会	奈良県立畝傍高等学校	
観光プロモーション課 課長	観光政策課 課長	企画連携課 学長	副代表	代表	学校教育課 課長	教育企画部 学校長	
担当者	担当者	担当者	担当者	担当者	担当者	担当者	地域協働学習実施支援員

コンソーシアムについて

<運営協議会>

- 第1回（6月）：大きな方針と今年度の予定
- 第2回（9月）：1学期総括と2学期の取組について
- 第3回（1月）：年度総括と来年度に向けて

コンソーシアムについて

＜**橿原市・観光政策課**＞

インバウンド・ツアー等地域における体験学習機会の提供

＜**奈良県・観光プロモーション課**＞

訪日校との交流機会提供

＜**奈良教育大学**＞

大学院生・教授等による課題研究指導

＜**国連世界観光機関駐日事務所（UNWTO）**＞

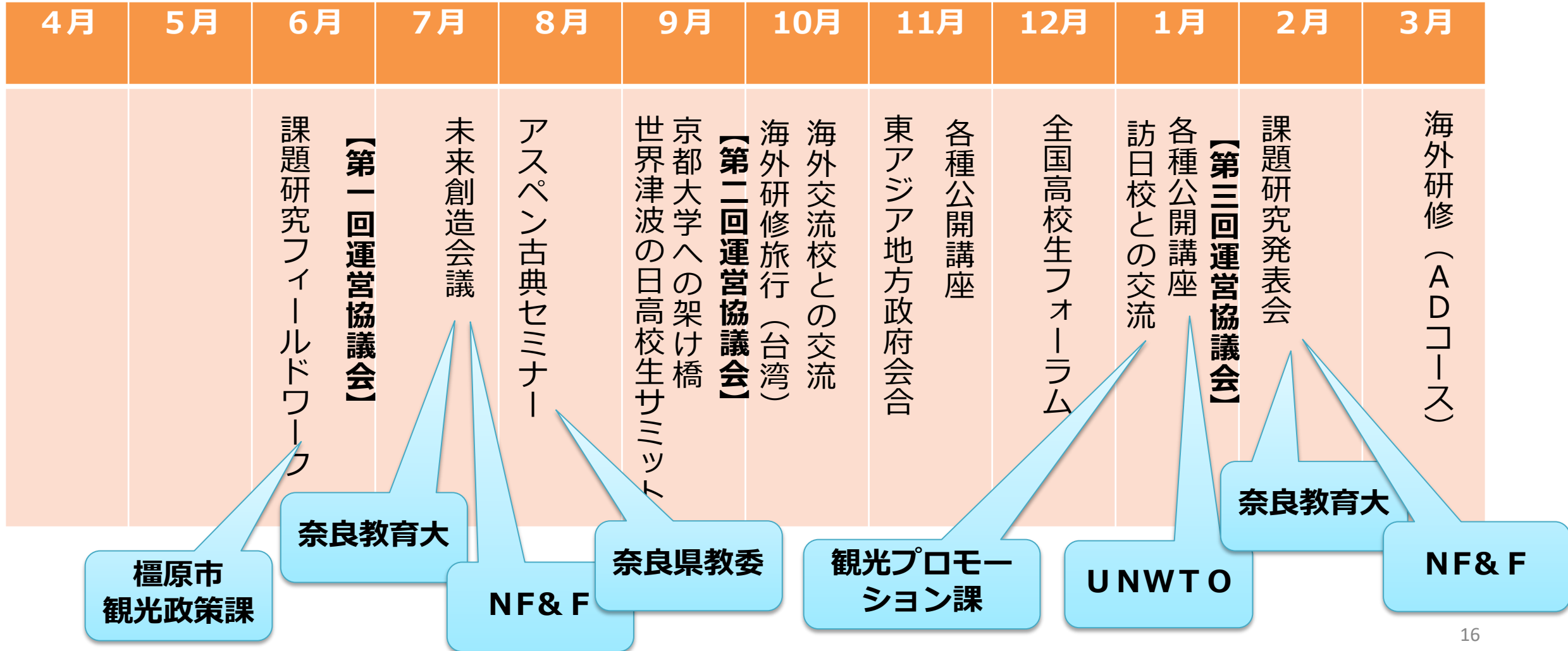
観光政策、SDG'sについての資料提供や助言
国際会議等の体験機会提供

＜**NPOナラ・ファミリー&フレンド（NF&F）**＞

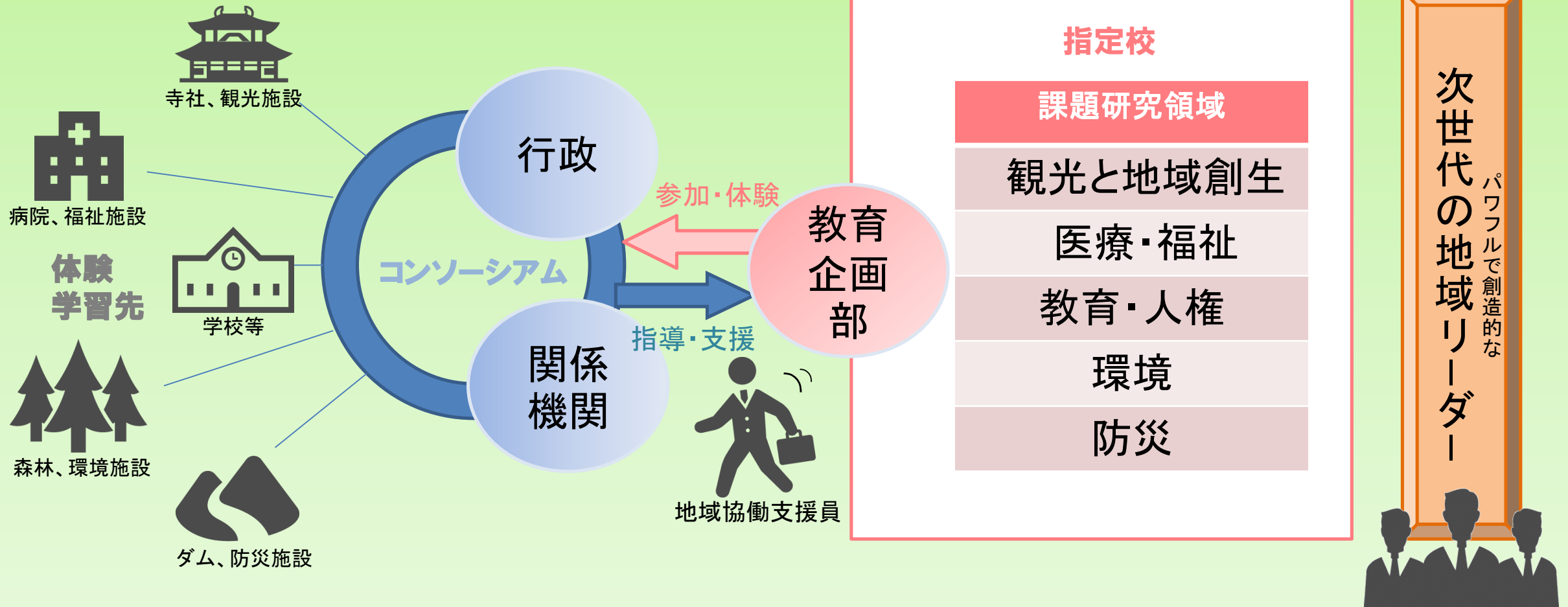
留学生、在日外国人との交流機会提供

コンソーシアムについて

<年間の取組との関わり>



分掌の役割と協力体制



取組の普及について

- 「奈良TIME」研究発表会
課題研究の成果を発表する。
- 「総合的な探究の時間」研究会
今年度から、教科研究会として発足。
指定校が研究会の中心的役割を担う。



県内高等学校の探究的な学びの推進

取組の普及について

「奈良TIME」とは…

奈良県独自の郷土の伝統・文化等に関する学習

※県立高等学校において、35単位時間を標準として実施。

<ねらい>

- ① 郷土の伝統、文化等に対する興味・関心や理解を深める。
- ② 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国の郷土を愛する態度を養う。
- ③ 国際社会の中で自立した社会人として生きる力を身に付ける。

まとめ（今後の課題）

- コンソーシアムによる支援の充実、連携の強化
- 他校との連携による探究的な学びの推進